男爵記念館農機類標本台帳

一般名称: 互用デスクプラウ	現地の通称:

資料種別: ◉ 製品-実物 ○ 製品-レプリカ ○ 製品-模型 ○ 製品図面 ○ 写真等 ○ 図書掲載 ○ その他

資料種類:
- ☐ 人力用具 ☐ 手押式 ☒ 耕耘用 ☐ 調製用
- ☐ 畜力用具 ☐ 乗用式 ☐ 施肥播種 ☐ 施設類
- ☐ 原動機具 ☒ 牽引式 ☐ 管理用 ☐ 機素
- ☒ トラクタ具 ☐ 定置式 ☐ 収穫用 ☐ その他

管理プレートNo.

台帳No. D023

相手先番号等

統一分類記号

製作者・会社: Chattanooga Implement Mfg. Co. IHC社販売

製造市・国名 Tenn. USA

製造年_購入年,標本収集年

使用目的・使用方法等

互用デスクプラウ: Royal reversible(or Two-way) K14 Disc Plow(International Harvester Co. No.125カタログに掲載され、IHC社が販売か？)は、傾斜畑で一定方向にれき(□)条を反転するプラウ。関連図2番目平面図に示す例で解説すると、耕起して圃場端に達する(写真の状態、往路の右反転とする)と固定レバーを外し、馬を(未耕地上の左回りで)旋回させると牽引ビームが機体のレール上を滑って回転し、ビーム固定点にある歯車によって耕起用デスクも反転(写真の反対に左向きとなり、左反転状態に)する。他方で本体部と前後の溝車(れき溝を走行)、小径の丘輪(未耕地の丘を走行)は回転しないで原状を維持するから、そこで固定レバーをロックして(復路を)耕起し始めれば一定方向にれき条が反転できる。同型機は、成田の御料牧場でも導入し、国内で二点のみの標本である。

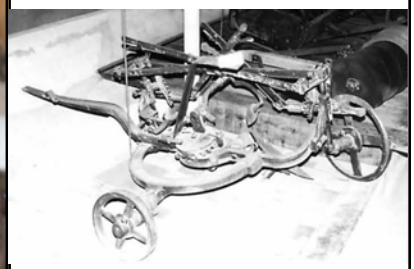
利用経過収集記録意義等

注：文中の□には「壓」を充当する

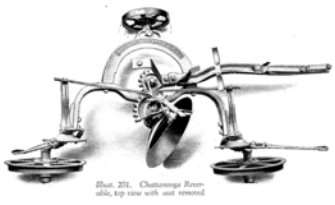
仕様書_解説等

機体前後回転型互用、デスクプラウ
デスク径460mm(原寸は508mm：20inで、利用によって摩耗)、カタログ記載の耕幅18～26cm、耕深7.5～16cm(20inデスク)、機体重214kg、座席・溝輪１個とベアリング欠品
全体図は展示姿1：2014年、ビーム横に異物
2と関連図1：1985年、通路際に展示
関連図2-3：カタログ図(インター(IHC)社1920年代刊 No.125号より)
4：御料牧場が導入した同型機

右に全体図



外観特色関連図等



資料の所在: 公開展示室

資料追記事項

資料管理経過

作業メモ追記文

農業機械学会北海道支部「農機DB作成委員会編